



平成21年12月期 決算概況(連結)

平成22年2月9日

会社名 サントリーホールディングス株式会社 URL <http://www.suntory.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐治 信忠
 問合せ先責任者 (役職名)広報部長 (氏名)濱岡 智 広報部 TEL (03)5579-1150
 TEL (06)6346-0835

(百万円未満切捨て)

1. 21年12月期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期	1,550,719	2.5	83,544	2.8	81,822	3.3
20年12月期	1,512,960	1.2	81,304	8.0	79,228	4.6

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
21年12月期	32,666	1.9	47 54	47 54	7.9	5.9	5.4
20年12月期	32,067	33.2	46 67	46 66	8.1	6.7	5.4

(参考) 持分法投資損益 21年12月期 224百万円 20年12月期 242百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期	1,628,280	455,638	26.3	623 96
20年12月期	1,146,152	421,830	34.4	573 05

(参考) 自己資本 21年12月期 428,747百万円 20年12月期 393,764百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年12月期	102,738	△ 388,903	243,629	112,656
20年12月期	88,630	△ 54,912	△ 62,525	156,181

2. 配当の状況

	年間	配当金総額(年間)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	円 銭	百万円	%	%
21年12月期	7 00	4,809	14.7	1.2
20年12月期	6 00	4,122	12.9	1.0

3. 22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	1,743,000 12.4	103,000 23.3	94,000 14.9	40,000 22.5	58 21

事業系統図

サントリーグループは、当社、子会社181社および関連会社28社より構成されています。主要な会社は次のとおりです。

※ 寿不動産(株)

サントリーホールディングス(株)(持株会社)

グループ全体の経営戦略の策定・推進、管理

[食品事業部門] 計 104社

→ サントリー食品(株)
↓
サントリーフーズ(株) ←
--- サントリープロダクツ(株)
サントリーウエルネス(株)
ハーゲンダッツジャパン(株)
Cerebos Pacific Limited
三得利(上海)食品有限公司
→ 三得利(上海)食品貿易有限公司
Frucor Beverages Limited
Pepsi Bottling Ventures LLC
Orangina Schweppes Holdings S.à.r.l.

[酒類事業部門] 計 51社

→ サントリー酒類(株) ←
↓
サントリービア&スピリッツ(株)
サントリーアライド(株) ←
サントリーワインインターナショナル(株)
モンテ物産(株)
三得利啤酒(上海)有限公司
三得利啤酒(昆山)有限公司
三得利光明啤酒(上海)有限公司
中国江蘇三得利食品有限公司
SUNTORY (AUST.) PTY. LIMITED
Morrison Bowmore Distillers Limited
CHATEAU LAGRANGE S.A.S.
Weingut Robert Weil KG

[その他の事業部門] 計 54社

<外食>
(株)ダイナック
ファーストキッチン(株)
<スポーツ>
(株)ティップネス
<通販>
(株)サントリー・ショッピング・クラブ
<花>
サントリーフラワーズ(株)

<ビジネスサポート>
サントリービジネスエキスパート(株)
<物流>
サントリーロジスティクス(株)

——→ 製品・商品の販売
-----→ サービスの提供

- (注) 1. サントリービジネスエキスパート(株)は、機能会社として関係会社に間接業務サービスを提供しています。
2. ※は親会社です。
3. 無印は連結子会社です。

経営成績

1. 当連結会計期間の概況

当連結会計期間のわが国の経済は、景気回復の兆しが一部見られるものの、個人消費の停滞や雇用悪化など厳しい状況が続いています。国内外の清涼飲料・酒類市場においても、景気低迷に加え競合激化により厳しい環境となりました。

こうした状況の中、サントリーグループは、“グローバル総合酒類食品企業”を目指し、4月から純粋持株会社制へ移行しました。

国内の食品・酒類事業を核に、新たにオセアニアやヨーロッパでの清涼飲料事業の基盤を強化したほか、「青いバラ」を発売した花事業など多岐にわたる分野で積極的な活動を展開しました。

平成21年(2009年)12月期の業績は、売上高が15,507億円(前年同期比102.5%)と増収になりました。収益面では、スピリッツ事業などの売上増にともなう利益増やSCM活動によるコスト削減により、営業利益は835億円(前年同期比102.8%)、経常利益は818億円(前年同期比103.3%)、当期純利益は327億円(前年同期比101.9%)と増益になりました。

なお、売上高・経常利益・当期純利益は過去最高となりました。

〈食品事業〉

サントリー食品(株)は、清涼飲料総市場が前年同期比97%と推定される中、前年同期比101%(3億5,490万ケース)と総市場を上回る販売となりました。

「BOSS」は、「レインボーマウンテンブレンド」「贅沢微糖」「無糖ブラック」「カフェオレ」の主要4アイテムに加え、「食後の余韻」などの新商品がご好評をいただき、当社食品事業において過去最高となる7,190万ケース(前年同期比105%)の販売を達成しました。炭酸飲料では、「PEPSI」の主力商品「ペプシネックス」が、“ゼロカロリーでおいしいコーラ”としてお客様から大変ご好評をいただき、前年同期比111%の販売となりました。ミネラルウォーターは、「サントリー天然水」が前年同期比108%と好調を維持しました。

サントリーウエルネス(株)は、主力の「セサミンEプラス」「DHA&EPA+セサミンE」「グルコサミン&コンドロイチン」「黒酢にんにく」などが引き続き好調で、同社の売上は前年同期比約2割増と大きく伸長しました。

ハーゲンダッツジャパン(株)は、ミニカップ「バニラ」「ストロベリー」などの基幹商品に加え、新商品のミニカップ「トリュフショコラ」、クリスピーサンド「クッキー&クリーム ホワイトチョコレート」などがお客様からご好評をいただきました。また、7月には「ハーゲンダッツ ラメゾン ギンザ」を東京・銀座にオープンし、話題を呼びました。

海外では、中国・上海を中心に発売した「黒烏龍茶」が好調な販売となりました。また、米国東海岸を中心に清涼飲料のボトラ事業を行う^{ペプシ ボトリング ベンチャーズ}Pepsi Bottling Ventures LLC、健康食品・加工食品を製造・販売するシンガポールの^{セレボス パシフィック}Cerebos Pacific Limited、2月からサントリーグループに加わった^{フルコア ビバレッジズ}ニュージーランド・オーストラリアで清涼飲料を販売するFRUCOR BEVERAGES LIMITEDが、堅調な売上となりました。このほか、フランス・スペインを中心にヨーロッパで清涼飲料事業を展開する^{オレンジーナ シュウェッペス}Orangina Schweppes Groupの株式を11月に100%取得しました。

以上の結果、食品事業の売上高は、8,611億円(前年同期比103.6%)となりました。

〈酒類事業〉

サントリー酒類(株)は、国内外の酒類市場において、付加価値の訴求やマーケティング活動を強化することで、新たな需要創出を図りました。

ビール事業は、5,811万ケース^{※1}(前年同期比97.1%)の販売数量となりました。味わいに高い評価をいただいている「ザ・プレミアム・モルツ」は、マーケティング活動をさらに強化し、1,266万ケース(前年同期比110.2%)と好調に推移し、6年連続で過去最高販売数量を更新しました。また、新ジャンル商品「金麦」も、1,684万ケース(前年同期比140.8%)と大幅な伸長を果たしました。

※1 ビールテイスト飲料「ファインブリュー」「ファインゼロ」含む

スピリッツ事業は、ウイスキーをはじめ各分野におけるマーケティング活動を積極展開し、前年同期比105%となりました。

ウイスキーは、ソーダで割った“ハイボール”という飲み方を徹底訴求し、前年同期比114%と大きく伸長し、市場を牽引しました。「角瓶」は、“ハイボール”を推奨するキャンペーンの実施や「角ハイボール缶」の発売、取扱店の拡大により、前年同期比131%となり、ウイスキー復活の大きな原動力となりました。発売25周年を迎えた「山崎」は、限定商品の発売や品質セミナーの強化などにより、国内では前年同期比107%、また海外でも欧州を中心に好調で、前年同期比約3割増となりました。欧州で先行発売し、9月に日本で発売した「響12年」は、国内・海外ともに計画を上回るペースで伸長しました。輸入シングルモルトウイスキーでは「ボウモア」「グレンフィディック」などが好調に推移しました。

RTDは、新たな付加価値をもった新商品の投入により、前年同期比111%と大きく伸長しました。2月に発売したアルコール度数8%で糖類ゼロ^{※2}の「-196°C ストロングゼロ」が好調で、「-196°C」ブランド計で前年同期比136%となりました。また、3月に発売した「ほろよい」は、アルコール度数3%によるやさしい飲み心地と、Webを通じた新たなコミュニケーションが、若者を中心に支持を得ました。

※2 「糖類ゼロ」は100ml当たり糖類0.5g未満のものに表示(栄養表示基準による)

リキュールは、若者や女性をターゲットに“家飲みスタイル”を提案した「おうちカクテル」キャンペーンや、体験型カクテルイベントの積極的な展開により、前年同期比約1割増となりました。また、梅酒は、紙パック商品が好調で前年同期比約3割増と大きく伸長しました。

焼酎は、市場同様、前年同期比99%となりました。甲類焼酎では、「鏡月」ブランドが限定商品の発売やキャンペーン実施など積極的なマーケティング活動を展開し、前年同期比102%と伸長しました。甲乙混和焼酎は、「むぎのか」に加え、料飲店専用の新商品「わんこ」「なんこ」を投入し、好調に推移しました。

海外では、メロンリキュール「ミドリ」などが伸長したSUNTORY (AUST.) PTY. LIMITED ^{サントリー オーストラリア}に加え、欧州を中心にシングルモルトウイスキー「ボウモア」が伸長したMorrison Bowmore Distillers Limited ^{モリソン ボウモア}も、好調に推移しました。中国でのビール事業は、マーケティング活動の効率化を図るなど事業基盤を強化しました。

サントリーワインインターナショナル(株)のワイン事業は、前年同期比103%の販売数量となりました。国産ワインでは、登美の丘ワイナリーのぶどうづくり100周年を記念して「登美 レゼルヴ スペシャル」を発売したほか、フランスの名門シャトーを所有する「Les Domaines Barons de Rothschild(ドメヌ バロン ド ロートシルト)」との技術交流を強化するなど、新たな取り組みを行ないました。また、「有機」や「無添加」ワインのラインナップを拡充した結果、国産ワイン計で前年同期比126%と大きく伸長しました。輸入ワインでは、コストパフォーマンスの高い「ビニャ マイポ」が好調に推移しました。

以上の結果、酒類事業の売上高は、5,577億円(前年同期比101.5%)となりました。

〈その他の事業〉

サントリーフラワーズ(株)は、“不可能の代名詞”とも言われた世界初^{※3}の青いバラ「SUNTORY blue rose APPLAUSE」を11月から発売、販売店には予約が殺到するなど、多くのお客様から大変高い評価をいただきました。

※3 花弁にほぼ100%青色色素を含む

外食事業は、総市場が前年同期比98%と推定される中、(株)プロントコーポレーションや井筒まい泉(株)が堅調に推移しました。

以上の結果、その他の事業の売上高は、1,320億円(前年同期比99.7%)となりました。

なお、国内売上高は13,370億円(前年同期比100.5%)、海外売上高は2,137億円(前年同期比117.4%)となりました。

当社は、創業以来、積極的に事業を展開するとともに、創業の精神である『利益三分主義』に基づき、文化・社会貢献、環境活動などにも取り組んできました。『水と生きる SUNTORY』というコーポレートメッセージを掲げ、社会と自然との共生を目指したさまざまな活動を展開しました。

1月には、環境経営をいっそう推進するため、水源涵養面積(2011年までに7,000ha)およびCO₂排出削減量(2012年までに2007年比20%削減)の中期目標を設定しました。

具体的な活動として、神奈川県で「サントリー『天然水の森』丹沢自然再生プロジェクト」を開始し、水源涵養エリアの拡大を図りました。清涼飲料の280ml ペットボトルにロールラベルを採用するなど、容器・包装のさらなる軽量化に取り組み、CO₂排出量を削減しました。また、環境緑化部を分社し、サントリーミドリエ(株)を設立、環境緑化ビジネスを強化しました。さらに、森や水をテーマにした次世代向け環境教育「水育」を、引き続き実施しました。

2.次期の見通し

引き続き景気の低迷が懸念される中、国内外の清涼飲料・酒類市場における競合は一層激化するものと予測されます。当社は今後も経営革新を進め、市場環境の変化に迅速に対応するとともに、お客様の目線に立った活動や商品開発を推進し、“グローバル総合酒類食品企業”として国内はもとより海外でのさらなる成長を目指します。

サントリー食品(株)は、積極攻勢に出る年と位置付け、事業を強力に推進していきます。清涼飲料では、「ウーロン茶」「BOSS」「伊右衛門」「PEPSI」「天然水」「DAKARA」といった基幹ブランドの育成・強化のほか、新商品の積極的なマーケティング活動を展開します。

海外では、中国において、新たに PepsiCo, Inc の現地法人と販売委託契約を締結し、ミルク飲料「リッチ」を広東省で発売するなど、さらなるエリア、事業拡大を目指します。その他のエリアでは、Pepsi Bottling Ventures LLC や Cerebos Pacific Limited、FRUCOR BEVERAGES LIMITED、新たに加わった Orangina Schweppes Group などを中心に、食品事業のさらなる拡大を図ります。

サントリー酒類(株)は、市場環境の変化に対応すべく、既存商品の育成・強化に加え、新しい価値提案にも積極的に取り組みます。

ビール事業は、好調な「ザ・プレミアム・モルツ」「金麦」を柱に、引き続き事業基盤の強化を図ります。さらに、伸長が期待される新ジャンル市場において、「ジョッキのみごたえ辛口〈生〉」を2月に、「7種のホップ リラックス」を3月に新発売することで、新たな需要を獲得していきます。

スピリッツ事業は、引き続き新たな価値創造による需要拡大を目指します。

ウイスキーは、“ハイボール”のさらなる認知向上と定着化、また「山崎」「白州」「響」などのプレミアムウイスキーならではの付加価値を訴求していきます。

RTDは、機能系2大ブランド「-196°C」糖類ゼロシリーズ、「カロリー。」のブランド強化に加え、「ほろよい」などの新たな価値提案により、さらなる需要拡大を図ります。

リキュールは、カクテル需要喚起のために引き続きコミュニケーション活動を強化します。伸長する梅酒市場においては、紙パック商品のラインナップ強化を図りさらに接点を拡大します。

焼酎は、本格芋焼酎では、「黒丸」のリニューアルや新商品投入により、ブランド力の向上を図ります。

海外では、ウイスキーやリキュールなどを中心に、サントリーグループトータルでのグローバルなブランド展開を図ります。

サントリーワインインターナショナル(株)は、国産ワインを中心とした伸長ブランドの育成に加え、ワインの幅広い楽しみ方を訴求するために積極的なマーケティングを展開します。

その他の事業については、外食事業を中心にさらなる売上増を目指します。

これらの活動により、事業セグメント別の売上高は、食品事業10,483億円(前年同期比121.7%)、酒類事業5,649億円(前年同期比101.3%)、その他の事業1,298億円(前年同期比98.4%)を予定しています。

以上を総合して、平成22年(2010年)12月期の売上高は、17,430億円(前年同期比112.4%)、営業利益1,030億円(前年同期比123.3%)、経常利益940億円(前年同期比114.9%)、当期純利益400億円(前年同期比122.5%)といずれも過去最高を予定しています。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成20年12月31日現在)		当連結会計年度 (平成21年12月31日現在)		増 減
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額
(資 産 の 部)		%		%	
I 流動資産	576,264	50.3	585,581	36.0	9,316
現金及び預金	123,006		142,725		19,719
受取手形及び売掛金	205,552		220,614		15,062
有価証券	34,351		—		△34,351
たな卸資産	158,440		—		△158,440
商品及び製品	—		129,204		129,204
仕掛品	—		10,861		10,861
原材料及び貯蔵品	—		21,675		21,675
繰延税金資産	17,700		20,754		3,053
その他	38,062		41,696		3,633
貸倒引当金	△849		△1,950		△1,101
II 固定資産	569,240	49.6	1,041,691	64.0	472,451
1. 有形固定資産	339,331	29.6	388,708	23.9	49,376
建物及び構築物	131,037		131,068		31
機械装置及び運搬具	71,971		88,864		16,893
工具、器具及び備品	45,556		52,219		6,662
土地	81,852		85,649		3,797
建設仮勘定	—		17,071		17,071
その他	8,914		13,834		4,920
2. 無形固定資産	32,395	2.8	456,399	28.0	424,003
のれん	20,116		441,768		421,651
その他	12,278		14,631		2,352
3. 投資その他の資産	197,512	17.2	196,584	12.1	△928
投資有価証券	103,644		99,899		△3,744
その他	99,479		100,897		1,417
貸倒引当金	△5,610		△4,212		1,398
III 繰延資産	647	0.1	1,006	0.0	359
資産合計	1,146,152	100.0	1,628,280	100.0	482,127

(注)

有形固定資産に対する減価償却累計額	620,169	631,946	11,777
-------------------	---------	---------	--------

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成20年12月31日現在)		当連結会計年度 (平成21年12月31日現在)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
(負 債 の 部)		%		%	
I 流動負債	451,083	39.4	554,750	34.1	103,667
支払手形及び買掛金	117,598		127,444		9,845
短期借入金	58,511		101,464		42,953
1年内償還予定の社債	16,290		39,701		23,411
未払酒税	39,699		40,820		1,120
未払消費税等	6,079		10,156		4,077
未払法人税等	17,498		23,220		5,721
未払金	78,349		93,135		14,785
未払費用	66,627		67,906		1,278
賞与引当金	7,349		8,005		655
その他	43,078		42,894		△183
II 固定負債	273,238	23.8	617,890	37.9	344,652
社債	75,192		178,327		103,134
長期借入金	114,829		326,572		211,743
退職給付引当金	13,348		10,976		△2,372
繰延税金負債	24,288		46,839		22,551
その他	45,579		55,175		9,595
負債合計	724,322	63.2	1,172,641	72.0	448,319
(純 資 産 の 部)					
I 株主資本	405,842	35.4	427,718	26.3	21,876
資本金	30,000		70,000		40,000
資本剰余金	5,510		—		△5,510
利益剰余金	370,331		357,718		△12,612
II 評価・換算差額等	△12,077	△1.0	1,028	0.1	13,106
その他有価証券評価差額金	14,804		11,368		△3,436
繰延ヘッジ損益	△3,464		△679		2,784
為替換算調整勘定	△23,417		△9,659		13,757
III 新株予約権	12	0.0	23	0.0	11
IV 少数株主持分	28,053	2.4	26,867	1.6	△1,186
純資産合計	421,830	36.8	455,638	28.0	33,808
負債純資産合計	1,146,152	100.0	1,628,280	100.0	482,127

連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度		当連結会計年度		増 減
	〔 自 平成20年 1月 1日 至 平成20年12月31日 〕		〔 自 平成21年 1月 1日 至 平成21年12月31日 〕		金 額
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額
I 売 上 高	1,512,960	100.0	1,550,719	100.0	37,759
II 売 上 原 価	797,457	52.7	807,418	52.1	9,960
売 上 総 利 益	715,502	47.3	743,301	47.9	27,798
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	634,198	41.9	659,757	42.5	25,558
販 売 促 進 費 及 び 手 数 料	298,405		310,892		12,486
広 告 宣 伝 費	53,805		51,417		△2,388
運 搬 費 及 び 保 管 費	48,303		49,743		1,439
労 務 費	116,174		122,522		6,348
減 価 償 却 費	19,314		20,710		1,396
そ の 他	98,194		104,471		6,276
営 業 利 益	81,304	5.4	83,544	5.4	2,239
IV 営 業 外 収 益	6,844	0.4	6,262	0.4	△582
受 取 利 息	2,620		1,815		△804
受 取 配 当 金	1,785		1,488		△296
雑 収 入	2,439		2,958		518
V 営 業 外 費 用	8,920	0.6	7,983	0.5	△937
支 払 利 息	5,940		6,139		198
為 替 差 損	1,550		—		△1,550
雑 支 出	1,430		1,844		414
経 常 利 益	79,228	5.2	81,822	5.3	2,594
VI 特 別 利 益	4,783	0.4	1,634	0.1	△3,148
固 定 資 産 売 却 益	2,740		857		△1,883
補 助 金 収 入	1,437		—		△1,437
そ の 他	604		777		172
VII 特 別 損 失	13,345	0.9	15,210	1.0	1,864
固 定 資 産 廃 棄 損	4,530		4,283		△247
減 損 損 失	1,204		5,100		3,895
組 織 再 編 関 連 費 用	—		2,867		2,867
た な 卸 資 産 評 価 損	1,722		—		△1,722
そ の 他	5,889		2,960		△2,929
税金等調整前当期純利益	70,665	4.7	68,246	4.4	△2,418
法人税、住民税及び事業税	30,164	2.0	31,338	2.0	1,174
法人税等調整額	1,434	0.1	△1,680	△0.1	△3,114
少数株主利益	6,999	0.5	5,922	0.4	△1,076
当 期 純 利 益	32,067	2.1	32,666	2.1	598

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		〔自 平成20年 1月 1日〕	〔自 平成21年 1月 1日〕
		至 平成20年12月31日〕	至 平成21年12月31日〕
		金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益		70,665	68,246
減価償却費		37,554	39,623
のれん償却額		—	5,847
受取利息及び受取配当金		△4,405	△3,304
支払利息		5,940	6,139
減損損失		1,204	5,100
有価証券等の評価損益及び売却損益		161	510
固定資産廃棄損		4,530	4,283
固定資産売却益		△2,740	△857
売上債権の増減額(△は増加)		8,757	△2,875
たな卸資産の増減額(△は増加)		△5,405	1,834
仕入債務の増減額(△は減少)		394	△4,260
未払酒税・消費税等の増減額(△は減少)		1,089	3,868
その他		△719	5,747
小計		117,025	129,902
利息及び配当金の受取額		5,594	3,662
利息の支払額		△6,122	△5,557
法人税等の支払額		△27,867	△25,269
営業活動によるキャッシュ・フロー		88,630	102,738
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出		—	△30,050
有価証券の取得による支出		△1,609	—
有価証券の売却、償還による収入		2,053	446
短期貸付金の増減額(△は増加)		339	312
有形、無形固定資産の取得による支出		△54,716	△56,605
有形、無形固定資産の売却による収入		8,353	2,373
投資有価証券の取得による支出		△4,706	△1,106
投資有価証券の売却、償還による収入		178	1,170
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		△4,416	△302,303
事業譲受による支出		—	△3,604
その他		△388	465
投資活動によるキャッシュ・フロー		△54,912	△388,903
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金及びコマーシャル・ペーパー増減額(△は減少)		△21,195	55,515
長期借入れによる収入		1,286	234,277
長期借入金の返済による支出		△35,076	△163,551
長期預け金の減少額		1,452	650
社債の発行による収入		6,369	146,437
社債の償還による支出		△5,640	△20,290
リース債務の返済による支出		—	△849
配当金の支払額		△3,435	△4,122
少数株主への配当金の支払額		△6,351	△4,431
その他		66	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー		△62,525	243,629
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△4,765	△1,235
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△33,572	△43,771
VI 現金及び現金同等物の期首残高		189,753	156,181
VII 連結の範囲の変更等に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		—	246
VIII 現金及び現金同等物の期末残高		156,181	112,656

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当連結会計年度(自平成21年1月1日至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	食品	酒類	その他	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	861,064	557,703	131,951	1,550,719	—	1,550,719
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	426	234	42,406	43,067	(43,067)	—
計	861,491	557,937	174,357	1,593,787	(43,067)	1,550,719
営業費用	777,271	537,864	170,087	1,485,223	(18,048)	1,467,175
営業利益	84,219	20,073	4,270	108,563	(25,018)	83,544
II 減価償却費及び資本的支出						
減価償却費	25,403	8,730	3,912	38,046	1,576	39,623
資本的支出	46,026	10,340	8,097	64,463	757	65,220

前連結会計年度(自平成20年1月1日至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	食品	酒類	その他	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	831,134	549,441	132,384	1,512,960	—	1,512,960
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	50	7	49,251	49,309	(49,309)	—
計	831,185	549,448	181,636	1,562,270	(49,309)	1,512,960
営業費用	765,908	537,368	177,689	1,480,966	(49,309)	1,431,656
営業利益	65,277	12,079	3,946	81,304	—	81,304
II 減価償却費及び資本的支出						
減価償却費	25,210	8,378	3,964	37,554	—	37,554
資本的支出	44,705	7,919	4,848	57,473	—	57,473

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質により区分しています。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品等
食品	飲料、健康飲料、健康食品、加工食品 他
酒類	ビール、洋酒、焼酎、RTD、ワイン 他
その他	外食、スポーツ、花苗 他

3. 当連結会計年度の営業費用のうち、「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社において発生するグループ管理費用(25,018百万円)です。

従来、各セグメントに配賦していました全社共通費用については、純粋持株会社移行に伴い、当連結会計年度より、当社において発生するグループ管理費用として「消去又は全社」の項目に含めることとしました。

なお、前連結会計年度の事業の種類別セグメント情報を、当連結会計年度と同様の方法により表示すると、以下のとおりとなります。

前連結会計年度(自平成20年1月1日至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	食品	酒類	その他	計	消去又は全社	連結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	831,134	549,441	132,384	1,512,960	—	1,512,960
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	50	7	49,251	49,309	(49,309)	—
計	831,185	549,448	181,636	1,562,270	(49,309)	1,512,960
営業費用	748,411	533,591	176,630	1,458,634	(26,977)	1,431,656
営業利益	82,774	15,856	5,005	103,636	(22,332)	81,304

2. 所在地別セグメント情報

当連結会計年度(自平成21年1月1日至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	国内	アジア・オセアニア	米州	欧州	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,337,183	131,875	70,270	11,390	1,550,719	—	1,550,719
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,284	1,170	331	2,425	5,212	(5,212)	—
計	1,338,468	133,045	70,601	13,816	1,555,932	(5,212)	1,550,719
営業費用	1,246,074	125,062	63,636	12,569	1,447,342	19,833	1,467,175
営業利益	92,394	7,982	6,965	1,247	108,589	(25,045)	83,544

前連結会計年度(自平成20年1月1日至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	国内	アジア・オセアニア	米州	欧州	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,331,006	105,376	67,407	9,170	1,512,960	—	1,512,960
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,497	1,240	236	2,223	5,199	(5,199)	—
計	1,332,503	106,617	67,644	11,394	1,518,160	(5,199)	1,512,960
営業費用	1,266,845	100,332	59,985	9,844	1,437,007	(5,351)	1,431,656
営業利益	65,658	6,284	7,658	1,550	81,152	151	81,304

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・オセアニア…東アジア、東南アジア及びオセアニア諸国

(2) 米州…北米及び中南米諸国

(3) 欧州…ヨーロッパ諸国

3. 当連結会計年度の営業費用のうち、「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用は、当社において発生するグループ管理費用(25,018百万円)です。

従来、各セグメントに配賦していました全社共通費用については、純粋持株会社移行に伴い、当連結会計年度より、当社において発生するグループ管理費用として「消去又は全社」の項目に含めることとしました。

なお、前連結会計年度の所在地別セグメント情報を、当連結会計年度と同様の方法により表示すると、以下のとおりとなります。

前連結会計年度(自平成20年1月1日至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	国内	アジア・オセアニア	米州	欧州	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,331,006	105,376	67,407	9,170	1,512,960	—	1,512,960
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1,497	1,240	236	2,223	5,199	(5,199)	—
計	1,332,503	106,617	67,644	11,394	1,518,160	(5,199)	1,512,960
営業費用	1,244,513	100,332	59,985	9,844	1,414,675	16,980	1,431,656
営業利益	87,990	6,284	7,658	1,550	103,484	(22,180)	81,304

3. 海外売上高

当連結会計年度(自平成21年1月1日至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	アジア・ オセアニア	米 州	欧 州	計
I 海外売上高	132,009	70,273	11,437	213,721
II 連結売上高				1,550,719
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	8.5%	4.5%	0.8%	13.8%

前連結会計年度(自平成20年1月1日至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	アジア・ オセアニア	米 州	欧 州	計
I 海外売上高	105,435	67,427	9,240	182,103
II 連結売上高				1,512,960
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	7.0%	4.4%	0.6%	12.0%

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・オセアニア…東アジア、東南アジア及びオセアニア諸国

(2) 米州…北米及び中南米諸国

(3) 欧州…ヨーロッパ諸国